



<桜> 2002年より©Suzuki Risaku

鈴木理策：熊野、雪、桜

Suzuki Risaku: kumano, yuki, sakura

2007.9.1 Sat. ~ 10.21 Sun.

東京都写真美術館

< 展覧会概要 >

東京都写真美術館では、これまで重点収集作家個展、新進作家グループ展を開催してまいりました。そしてこのたび、国際的に活躍する中堅作家の作品表現を積極的にご紹介する機会を設けることとなりました。その第1回目の作家展として2007年は「鈴木理策：熊野、雪、桜」展を開催いたします。

鈴木理策は1963年和歌山県に生まれ、自らの故郷であり聖地でもある熊野やその周辺、日常生活から続いていく場としての聖地などをモチーフにした写真作品を制作し、そのライフワーク的作品が評価され、2000年に木村伊兵衛写真賞、2006年には東川賞 国内作家賞、和歌山県文化表彰 文化奨励賞を受賞。2003年、ヒューストン美術館のグループ展、2006年、ニューヨークでの個展など、国際的に活動の場を広げてきました。

今回の展覧会は、現在も継続して撮り続けている熊野<海と山のあいだ>や代表作<桜>の新作をご紹介するとともに、初公開となる雪をモチーフにした<White>を展示いたします。日本人にとって普遍的な表象を追いかけながらも、時空は現在の重なりであることを意識させる作家の作品は、現在の私たちの立脚点を確認するためのよい指標となることでしょう。最も活躍が期待される作家のひとり、鈴木理策の現在進行形の活動をご期待ください。

< 展示構成 >

< 海と山のあいだ > 2005～2007年（和歌山県 熊野）

< 桜 > 2002～2007年（奈良県 吉野）

< White > 2007年（北海道十勝岳）

など約60点を出品予定です。半数以上が初展示の新作です。

「崇高と空白」

鷺田 清一

鈴木理策の「犯罪」は、「花泥棒」から、もっと苛烈に「爆破」へとさらにエスカレートしてゆくかのようだ。画像における「白」の増殖は、そのエスカレーションを証してあまりある。なかでもこのたびの個展「熊野、雪、桜」における「雪」は、「白」の増殖が半端でない。雪原のテクスチャ、それを主題にしたこの写真群は、大樹の淡い影を透かし衣のようにうっすらと纏う。濡れた肌を晒す。舞う雪片が空気と混じる。が、そのうち、樹々たちは隅へと、さらには欄外へと退いてゆき、画像の端にかいま見えるだけになる。やがて樹の影だけが残し、ついにその影すらも雪のなかに融けてゆく。世界の爆破のあと、白い煙に包まれ、世界に一瞬の静謐が訪れたかのように。中央に大きな空白を得たその像は、水墨画のようにも見えるし、伊藤若沖の「動植采絵」における、雪の、もっちりしたというか、まるやかというか、そんな柔らかなぬめりのあるマチエールにも通じる感覚だ。

展覧会図録「鈴木理策：熊野、雪、桜」(2007年、淡交社)より抜粋

< 展覧会図録 >

「鈴木理策：熊野、雪、桜」(2007年、淡交社) 2,700円予定(税込み)

< 関連事業 >

展覧会開催期間中は、さまざまな関連事業を開催いたします。どうぞご参加ください。

講演会

事前申込制 / 定員各回 50名予定 / 参加費：各回 1000円(友の会会員各 500円) / 会場：1階創作室

申込先：[メールアドレス workshop@syabi.com](mailto:workshop@syabi.com) / FAX 03-3280-0033

「持続するまなざし」

飯沢耕太郎(写真評論家) × 竹内万里子(写真批評家) × 鈴木理策

9月15日(土)15時～17時 申込締切日：9月7日(金)

「熊野：聖地の歩き方」 三重県共催

植島啓司(宗教人類学者) × 鈴木理策

10月6日(土)15時～16時30分 申込締切日：9月19日(水)

電子メール、もしくはFAXで講座名、日時、氏名、連絡先(FAXの場合FAX番号)をご記入のうえ、上記申込先までお送りください。1通につき、1名様でお願いします。なお、定員を超えるご応募があった場合は、抽選とさせていただきますのでご了承ください。また、ご取材をご希望の方は広報担当までお申し出ください。

展示室座談会

閉館後、2階展示室内で開催します。参加ご希望の方は、展示室でお待ちください。

「熊野」 中上紀(作家) × 鈴木理策 9月29日(土)18時～19時

「桜」 前田英樹(フランス思想・映像身体論) × 鈴木理策 10月13日(土)18時～19時

「雪」 中谷英二子(アーティスト) × 鈴木理策 10月20日(土)18時～19時【予定】

事業内容、スケジュール等は予告なく変更することがございます。最新情報についてはお問合せいただくか、ホームページ [<http://www.syabi.com>]をご覧ください。申込時の個人情報は、本事業でご連絡するために使用するものです。また、ご取材をご希望の方は広報担当までお申し出ください。

都民の日 特別コンサート

雲龍(笛奏者)コンサート

10月1日(月・都民の日) 18時30分～20時より 2階展示室

展覧会・コンサート共、無料、定員先着70名(予定)

当日10時より2階展示室受付にて整理券を配布します。

フロアレクチャー

担当学芸員による展示解説を第2・第4金曜日の午後2時より行います。

参加ご希望の方は、観覧券もしくは当日消印の半券をお持ちの上、会場ロビーにお集まりください。

<開催概要>

展覧会名	鈴木理策：熊野、雪、桜（英題 Suzuki Risaku: kumano, yuki, sakura）
主催	財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 / 朝日新聞社
協賛	資生堂 / 凸版印刷 / ラブリークィーン
助成	芸術文化振興基金 / アサヒビール芸術文化財団
協力	熊野本宮大社 / 熊野速玉大社 / 熊野那智大社 / ギャラリー小柳 / フォトグラファーズ・ラボラトリー
後援	和歌山県 / 三重県
会場	東京都写真美術館 2階展示室 03(3280)0099
休館日	月曜日（但し祝祭日の場合は開館、翌火曜日休館） ただし10月1日(月)都民の日は臨時開館（観覧無料）。翌10月2日(火)は通常 開館します
料金	一般 700(560)円 学生 600(480)円 中高生・65歳以上 500(400)円 （ ）内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会 小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者は無料 第3水曜日は65歳以上無料

<お問い合わせ先>

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
電話：03(3280)0034 Fax：03(3280)0033

展覧会担当学芸員 丹羽 晴美（にわ はるみ）h.niwa@syabi.com
石田 留美子（いしだ るみこ）r.ishida@syabi.com
広報担当 久代 明子（くしろ あきこ）a.kushiro@syabi.com

「鈴木理策：熊野、雪、桜」プレス図版
下記の作品図版を、記事掲載用としてデータにてご用意しております。

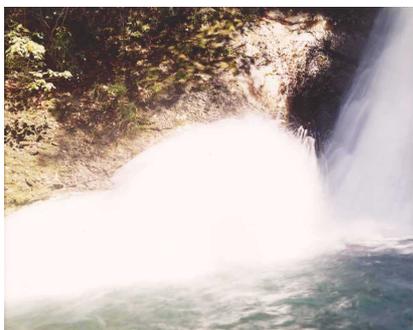
1



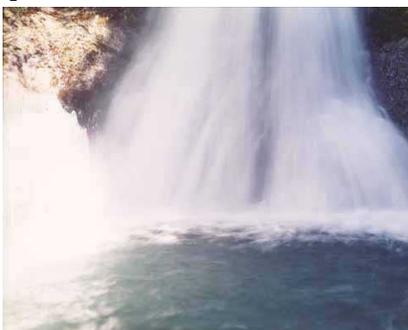
2



3



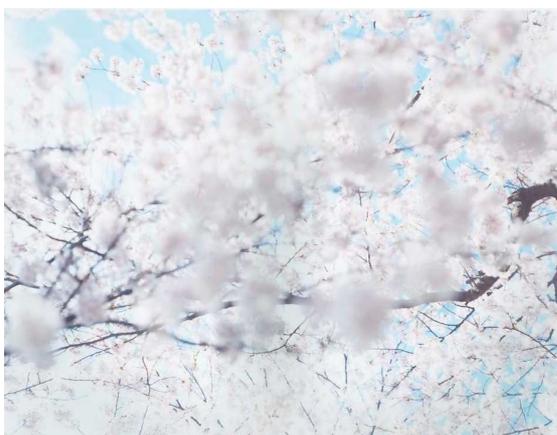
4



5



6



7



作品キャプション

1～5. 鈴木理策 <海と山のあいだ> 2005年 東京都写真美術館蔵 ©Risaku Suzuki

6. 鈴木理策 <桜> 2007年 ©Risaku Suzuki

7. 鈴木理策 <White> 2007年 ©Risaku Suzuki

表紙. 鈴木理策 <桜> 2002年 ©Risaku Suzuki

< 掲載・取材のお問い合わせ、図版のご請求 >

東京都写真美術館 事業企画課 普及係 久代 a.kushiro@syabi.com

(電話) 03 - 3280 - 0034 (FAX) 03 - 3280 - 0033

< 掲載に際してのご注意 >

1. 図版はトリミングできません。あらかじめご了承ください 2. 図版をご掲載の際は、必ずキャプションもいっしょにご記載ください 3. 掲載前にゲラを拝見させて頂きたくご配慮をお願い申し上げます 4. お渡しした図版は、本展の紹介以外での目的では使用できません。このことに関して発生したトラブルについて当館は一切責任を負いかねます 5. 作品図版は実際の展示と異なる場合があります。あらかじめご了承下さい。